埼医業Ⅰ第９７８号
令和６年７月１７日

郡市・大学医師会長　殿

埼玉県医師会長　金井　忠男
（公印省略）

乳幼児のスキンケアに関する啓発資材について

このことについて、別紙のとおり埼玉県保健医療部長から通知がありました。

つきましては、貴会におかれましても内容をご了知いただき、貴会管下会員にご周知くださるようお願い申し上げます。

担　当：業務課業務Ⅰ担当　石川
ＴＥＬ：０４８－８２４－２６１１
ＦＡＸ：０４８－８２２－８５１５

疾　第８１７－１号
令和６年７月１０日

一般社団法人　埼玉県医師会
会長　金井　忠男　様

埼玉県保健医療部長　表　久仁和

（公　印　省　略）

乳幼児のスキンケアに関する啓発資材について

本県のアレルギー疾患対策の推進につきましては、日頃格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

この度、乳幼児のスキンケア（湿疹対策）の重要性を呼びかけるため、大塚製薬株式会社と協力し、啓発資材「乳幼児のスキンケア～赤ちゃんの湿疹対策～」を作成し、埼玉県のホームページに掲載いたしました。

つきましては、貴会会員への周知について、御配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、本啓発資材の作成は「健康増進に関する埼玉県と大塚製薬株式会社との連携協定」に基づき、埼玉県と大塚製薬により作成しております。

埼玉県ホームページ「アレルギー疾患に関する情報」

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/allergy/information.html

担　当：総務・疾病対策担当　山田
電　話：０４８-８３０－３５９８
E-mail：a3590-05@pref.saitama.lg.jp

New！乳幼児の湿疹について

乳幼児のスキンケア～赤ちゃんの湿疹対策～
乳幼児のスキンケア（湿疹対策）の重要性を呼びかけるため、大塚製薬株式会社と協力し、啓発資材「乳幼児のスキンケア～赤ちゃんの湿疹対策～」を作成いたしました。



日本語版



中国語版



英語版

※この情報は、令和６年６月４日現在の情報を元に作成しています。今後の知見により、内容が変更となる可能性がありますので御注意ください。

なお、このパンフレットは、著作権法に基づきコピー等を禁じています。商用目的のダウンロードや無断転用等は固く禁じます。
印刷・ダウンロードは、御家庭等での個人使用目的のみとさせていただきます。

※このパンフレットは「健康増進に関する埼玉県と大塚製薬株式会社との連携協定」に基づき、作成しております。

出典：埼玉県　ホームページ「アレルギー疾患に関する情報」から一部抜粋

トップページ ＞ 健康・福祉 ＞ 医療 ＞ アレルギー疾患対策 ＞ アレルギー疾患に関する情報



乳幼児のスキンケア

～赤ちゃんの湿疹対策～



監修

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科 教授 **松原 知代** 先生

埼玉医科大学病院 小児科 教授 **板澤 寿子** 先生

本冊子はこちらの
二次元コードからも
ご覧いただけます。

アンケートにご協力
お願いいたします。



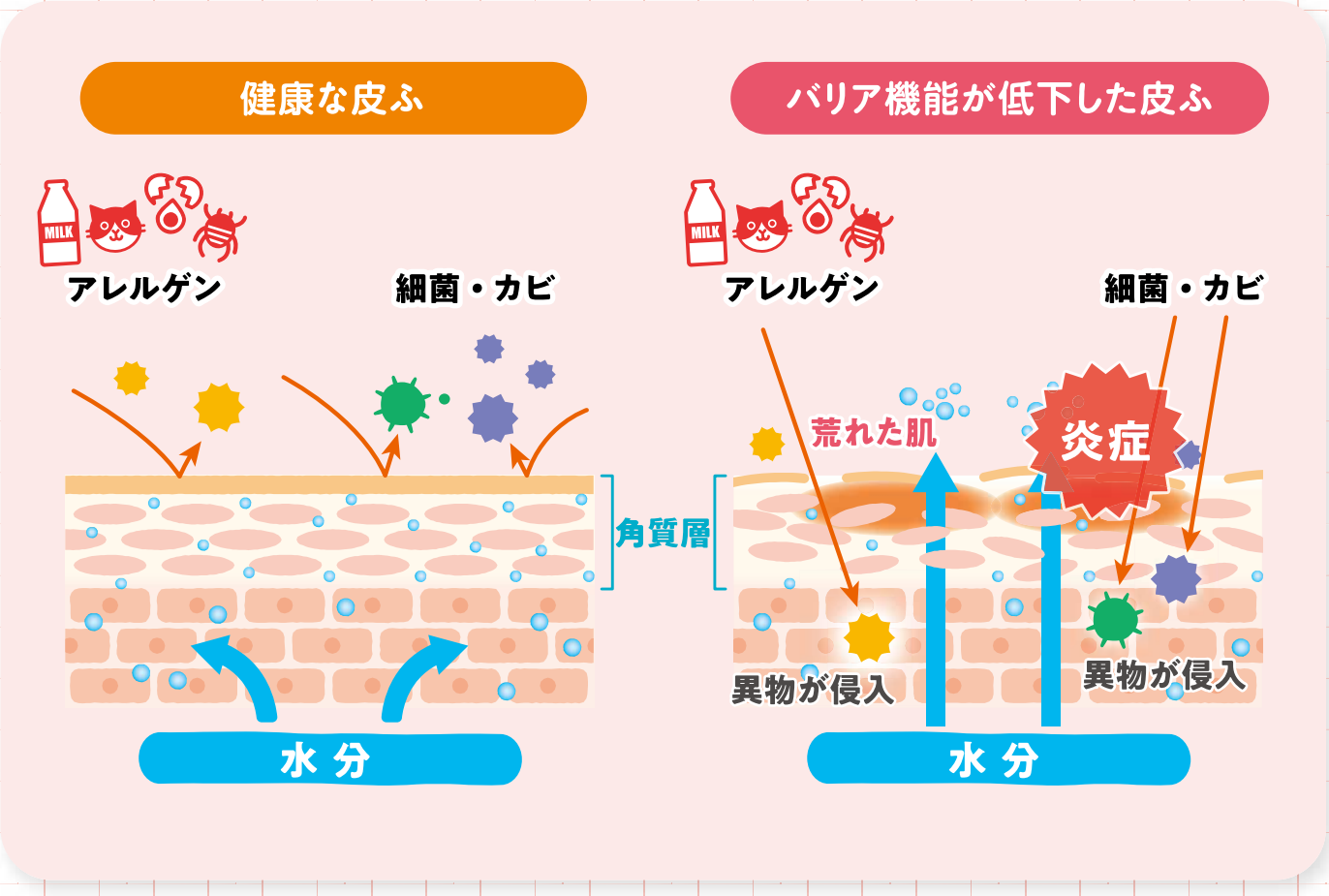
彩の国 埼玉県

Otsuka 大塚製薬

大塚製薬は埼玉県と健康に関する包括的な連携協定を締結し、
県民の健康増進に関する取り組みに協力しています。

赤ちゃんの“肌荒れ”と“食物アレルギー”

肌にはさまざまな外敵から身を守るバリア機能があります。しかし、湿疹部分はこのバリア機能が低下しており、外敵（アレルギーのもととなるアレルゲンや細菌、カビなど）が侵入しやすく、水分が喪失して乾燥します。

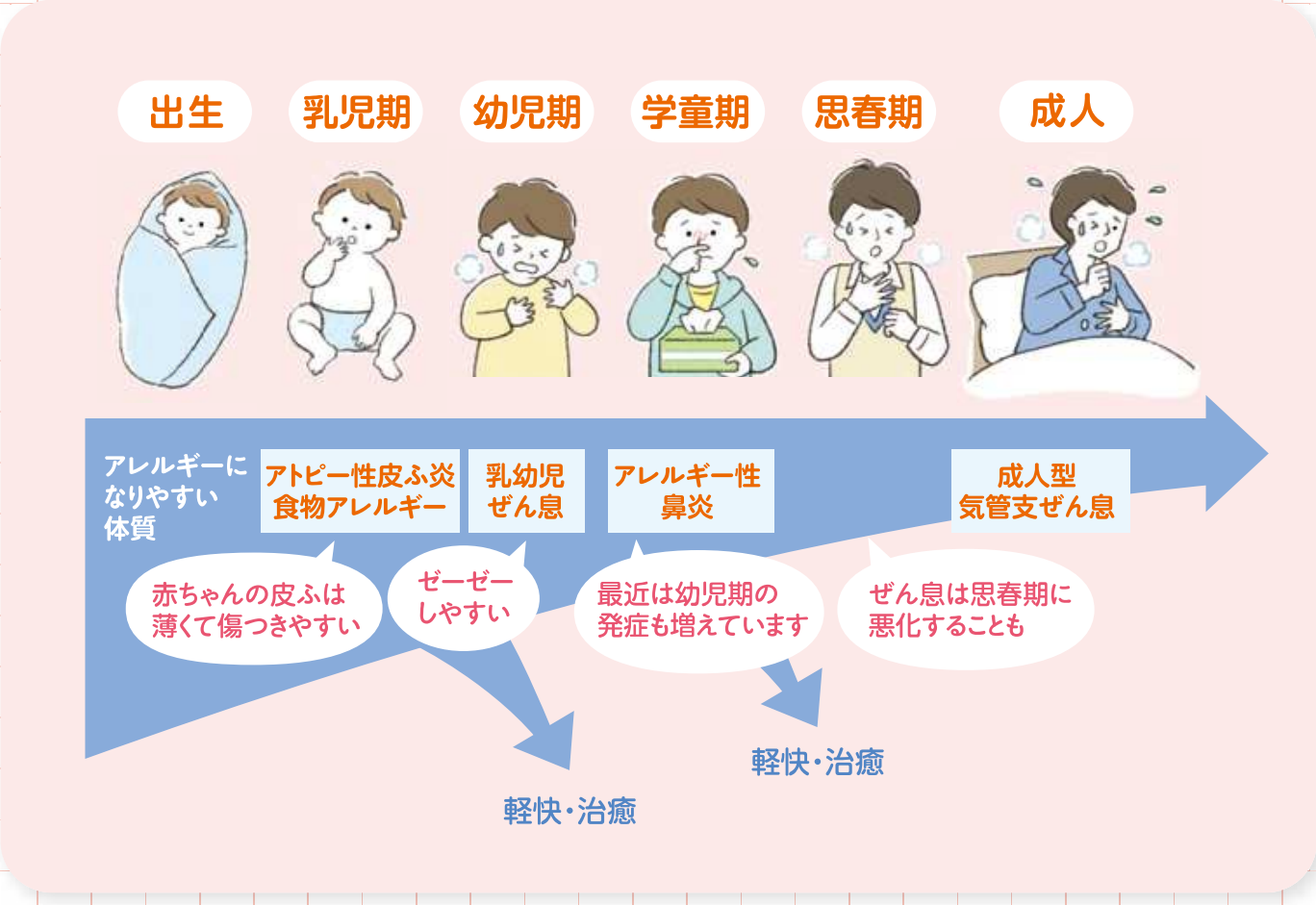


湿疹部分から卵、牛乳などの成分が侵入すると、食物アレルギーを発症したり、重症化させたりすることが明らかとなっています。特に赤ちゃんはこのリスクが高いため、離乳食を始める前に湿疹をよくすることが重要です。



湿疹がアレルギーマーチの始まり

アレルギーの病気には、ぜん息、アトピー性皮ふ炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、花粉症などがあります。
年齢によって発症しやすいアレルギーが異なります。多くの患者さんで、乳児期に湿疹・アトピー性皮ふ炎が最初に発症して、その後、食物アレルギー、ぜん息、アレルギー性鼻炎、というふうに発症していく傾向があります。



必ずしもすべての人がこのような病気の流れになるわけではありませんが、さまざまなアレルギーの病気が年齢によって次々と発症してくる様子を音楽隊の行進（マーチ）になぞらえて「アレルギーマーチ」と呼んでいます。アレルギーマーチの進行を止めて、アレルギーを予防することが大切です!

日本アレルギー学会，厚生労働省．アレルギーポータル．
https://allergyportal.jp/knowledge/about/(2023年1月閲覧)より改変

肌を清潔に保つ



1 赤ちゃんのスキンケアの第一歩は、肌を清潔に保つことです。

赤ちゃんは新陳代謝が盛んで汗っかきなので、
1日1回はベビー用の石けんやボディーシャンプーなどで
キレイに洗ってあげましょう。



2 手のひらでやさしくていねいに洗いましょう。

石けんやボディーシャンプーを泡立ててから、
手のひらでやさしく洗いましょう。
とくに汚れが残りやすい首のまわり、おしりや
おまたの周囲や裏側などは、
しわやくびれを伸ばすように人さし指や親指を
差し入れて念入りに洗いましょう。
お母さんの爪が伸びていると赤ちゃんの肌を
傷つけてしまうので、気を付けましょう。

3 やさしくポンポンと水分をふいてあげましょう。

石けんやボディーシャンプーが
肌に残らないようにキレイに落としたら、
バスタオルでポンポンと軽く押さえるようにして、
十分に水分をふき取りましょう。



乳幼児のスキンケア方法（洗い方と保湿剤の塗り方）についてはこちら

動画やリーフレットで分かりやすく解説されています。

出典:環境再生保全機構ERCA（エルカ）ホームページ
(https://www.erca.go.jp/yobou/event/r02remote03/index.html)

かゆそうにしている時や、なかなか治らない時には医療機関で相談しましょう

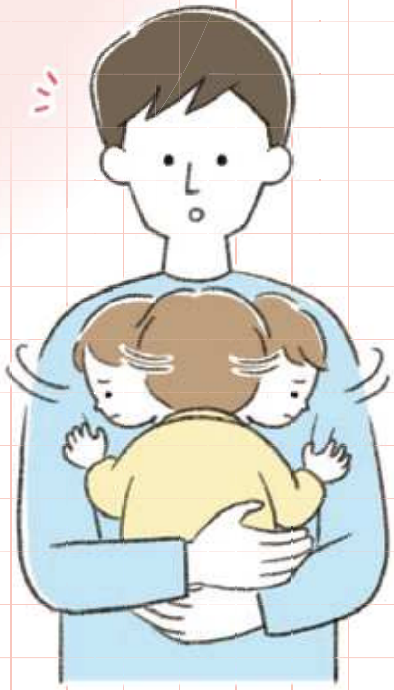
赤ちゃんの皮膚はトラブルがつきもので「**乳児湿疹**」とよばれます。かゆそうにしている時、なかなか治らない時には小児科や皮膚科に相談しましょう。

頭や生え際に
ベタベタやブツブツ
黄色いかさぶたのよう
なものがある

顔や頭、
耳の裏側や
耳たぶなどの皮ふに
赤い湿疹がある



頬や鼻、
口の周りに
にきびのような
ブツブツがある



親御さんに顔をこすりつけるのも痒みのサインかも

アレルギーに関する情報はこちらから



埼玉県マスコット
「コバトン」
「さいたまっち」

アレルギーポータル

アレルギーに関する「正しい情報」をお届けするWebサイト

https://allergyportal.jp/knowledge/

埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院のHP

医療機関検索や電話相談窓口案内

http://allergy.saitama-med.ac.jp/

埼玉県のHP

アレルギー疾患対策のサイト

https://www.pref.saitama.lg.jp/kenko/iryo/kafunsho/index.html

アトピース

アトピー性皮膚炎の情報サイト
大塚製薬株式会社

https://atopic-dermatitis.jp/

memo

2024年5月作成
MZ2405008